

塩竈市立第三小学校 防災教育計画

1 目的

下記の「防災対応能力」の基礎を培うことを目的とする。

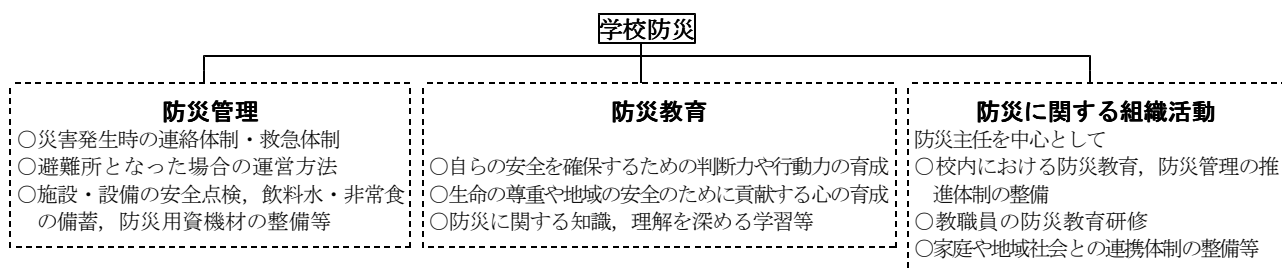
- ①災害に対し自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- ②災害発生時に、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができるようにする。
- ③自然災害の発生メカニズムをはじめ、災害の地域的特性や防災体制などについて理解できるようにする。

2 目標

上記の防災教育の目的を踏まえ、総合的、体系的な防災教育を行うことにより、次に掲げるように一人一人の防災対応能力の向上を図り、防災に貢献できる多様な人材を育成することを目標とする。

- ①すべての災害発生時に、発達段階に応じた的確な判断を行い、自らの安全を確保するために行動できるようにする。
- ②防災教育を生命を大切にす心の教育と位置付け、災害発生時には、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
- ③地域の教材の活用と地域と連携した防災訓練等の実施により、災害の発生メカニズムや歴史、地域の自然環境や防災体制について理解できるようにする。

3 学校防災の体系（文科省「生きる力をはぐくむ防災教育の展開」等に基づく）



4 指導内容（文科省「生きる力をはぐくむ防災教育の展開」より抜粋）

区分	目標	項目	内容		
			低学年	中学年	高学年
火災時の安全	火災の時に起こりやすい危険な状況を理解し、適切な行動ができるようにする。	火災のときの危険 火災の状況に応じた安全な行動 避難経路・避難場所の確認と避難や誘導の仕方	火のまわり方と煙の危険 火のまわり方と煙に対する行動の仕方 避難の仕方と方法	火災の原因と危険 火災情報に基づいた判断と安全な行動 避難場所の確認	火災が発生したときの心構え 安全な行動の要素 様々な場面に応じた避難の仕方
地震災害時の安全	地震発生の場合、危険な行動に走りやすいことを理解し、安全な行動ができるようにする。	地震のときに起こる危険を理解し、安全に行動できるようにする 避難経路・避難場所の確認と避難や誘導の仕方 津波による危険と避難の仕方	地震のときの危険 安全な避難の仕方 安全な避難場所の確認と避難の仕方 津波による危険	地震情報に基づいた判断と安全な行動 安全な避難場所の確認 津波情報の収集の仕方	地震のときの危険に対する心構え 様々な場面に応じた避難の仕方 様々な場面に応じた避難の仕方
火山災害時の安全	火山災害が発生した場合の危険を理解し、安全な行動ができるようにする。	火山活動による危険と避難の仕方	安全な避難場所の確認と避難の仕方 火山活動による危険	火山情報の収集の仕方	様々な場面に応じた避難の仕方
気象災害時の安全	風水害、豪雪は登下校時の道路環境を変えることがあることを理解し、危険を的確に判断し、安全な行動ができるようにする。	風水害等による危険と安全な行動の仕方 豪雪、雪崩等による危険と安全な行動の仕方 落雷による危険と安全な行動の仕方	風水害のときの安全な登下校の仕方 豪雪のときの安全な登下校の仕方 登下校中の落雷による危険	風水害のときの危険 豪雪、雪崩のときの危険 落雷からの身の守り方	風水害のときの安全な行動の仕方 豪雪、雪崩のときの安全な行動の仕方 落雷に遭わない行動の仕方
原子力災害時の安全	放射線による事故の危険について理解し、安全な行動ができるようにする。	放射線による身体への影響や健康被害 放射線による健康被害の防止や避難の仕方 放射線による健康被害の防止と個人や社会の責任	目に見えない危険 安全な避難の仕方 放射線の存在	身近にある放射線 避難経路や避難場所の確認 放射線の使われ方	放射線による身体への影響と健康被害 正しい情報の入手の仕方 放射線の安全対策への理解
避難所の役割と安全	災害発生時における避難所の役割とそこでの生活を理解し、安全な行動ができるようにする。	災害発生状況と避難所の意義と相互扶助	避難場所での安全な生活	災害発生時の避難所の役割	避難所の生活と自分の役割
災害の備えと安全な生活	災害安全に関する意識を高めるために、防災避難訓練等の学校行事の意義を理解し、積極的に参加できるようにする。	災害安全に関する学校行事等の意義の理解と積極的な参加 児童会活動による自主的活動への参加 地域社会における防災に関する活動への参加	防災避難訓練等への参加の仕方 家庭での防災	災害安全に関する学校行事への積極的な参加 学校での防災	災害安全等に関する学校行事の意義と理解 災害安全に関する児童会活動の内容 地域における防災に関する活動の理解と参加